

速さに目をむけたマシン

レーサー ミニ四駆

ミニ四駆の大先輩!

エアロやマイティミニ四駆のルーツともいうべきマシンを紹介しよう。そのころ大人気のRCバギーの弟分として生まれたのがホットショット Jr.。これがレーサーミニ四駆の第一弾だ。名前に Jr. とついているのはRCカーをモデルにしたから。それまでパワー重視だったミニ四駆がスピードへの挑戦を始めたマシンだ。初期のレーサーミニ四駆はスパイクタイヤを装備していたり、ドライバーの半身像が乗

現在ミニ四駆は車体がとても低く完全なオンロードレース仕様となっている。



っていたりと今とはだいぶ感じが違う。さっそくまんがに登場したマシンもあったし、最初のころのジャパンカップで活躍したのもこれらのマシンだ。最初はローラーさえついてなかったけど、みんなのアイデアと工夫で今のように進化してきた。さあ君だったらオフロード仕様のミニ四駆でどんな遊びを考えるかな？

右の写真の製品は、12月に特別復刻版として限定発売されます。

HOTSHOT
JUNIOR

1986年6月



ホットショット Jr. (18001)
レーシングバギーらしい超コンパクトなボディが特徴。

The HORNET
JUNIOR

1986年5月



ホーネット Jr. (18002)
ホーネット(スズメバチ)をイメージしたカラーリングがカッコいいぞ!

The FOX
JUNIOR

1986年9月



フォックス Jr. (18003)
名前の通りキツネを思わせるスリムなスタイルだ。

The BIGWIG
JUNIOR

1987年3月



ビッグウィッグ Jr. (18005)
実物のレーシングカーのデザイナーがデザインしたRCのボディをミニ四駆サイズで再現。

SUPER DRAGON
JUNIOR

1987年8月



スーパードラゴン Jr. (18007)
龍の頭をイメージしたボディデザインは迫力満点だ。

THUNDER DRAGON
JUNIOR

1987年12月



サンダードラゴン Jr. (18008)
シャープなラインで構成されたボディがとても未来的。

Thunder Shot

1988年3月



サンダーショット Jr. (18009)
ボディと一体型のリアウィングがカッコいいね。

FIRE DRAGON
JUNIOR

1988年6月



ファイヤードラゴン Jr. (18011)
力強いファイヤーパターンのカラーリングが目玉ぞ。

WINNING BIRD

1990年4月



ウイニングバード (18024)
鳥を思わせる大型のV字翼とサイドポンツーンが特徴。